



大用小学校学校だより NO.13

とみやま



令和6年10月25日 文責 校長 弘瀬

走った！ 投げた！ 跳んだ！ (四万十市・三原村陸上記録会)



10月18日(金)、中村南小学校グラウンドで陸上記録会が開催され、5・6年生7名(1名欠席)が参加しました。前日までの雨で開催が心配されましたが、早朝から市内の体育主任をはじめ役員の方等に、グラウンド整備を行っていただき無事に実施することができました。例年は、宿毛市総合運動公園内陸上競技場で行っていますが、大規模改修のため何年かぶりにこのグラウンドで行うことになりました。

子どもたちは10月1日から陸上練習を始めましたが、雨天が多く十分な練習ができませんでした。そんな状況でも自分の記録を伸ばそうと懸命に挑戦する姿に感動しました。橋田教頭先生は走競技の記録係だったのですが、「50m以上離れた場所にいるのに、大用小学校の子どもたちが自分の名前を呼ばれた時の返事が聞こえてきた」と嬉しそうに話していました。競技の結果は、後日お知らせいたします。

「モルック」は楽しいね！



▲10月21日(月)、大用ふれあい会と大屋敷ふれあい会の交流に、1・2年生も参加をさせていただきました。「モルック」は、フィンランド発祥のゲームで、投げる棒(モルックという)を番号が記された木製のピンに当て、得点を加算していき50点を目指すゲームです。ピンを狙って投げるものの、なかなか当たりません。高得点を出した時の喜びは大きく、はじめての子どもたちが夢中になるほどの楽しいゲームでした。交流、ありがとうございました。

「ワッショイ」の声を響かせます！



▲10月15日(月)、大用の秋祭りに向けて、全校児童が協力して子ども神輿やうちの飾りつけを行いました。昨年度までは、赤白チームで2基の神輿を出していましたが、高学年の児童が少なくなり、子どもの負担を軽減するために今年度から1基にしました。赤と白のチームカラーを取り入れ、工夫した神輿になりました。

11月3日(日)10:40~11:20に子ども神輿を繰り出します。よい天気になるといいのですが…。

太陽みたいな 元気な あいさつをしたいな! (道徳参観日での学びより)



10月24日(木)5校時目に全校道徳の授業を行いました。「通学路の神様」を題材に、あいさつの仕方について学びました。保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。

【授業後の児童の振り返り】

- 人が聞いたらいい気持ちになるようにあいさつをする。
- 元気なあいさつをしたら、人がうれしい気持ちになると思う。
- 相手を見て、心をこめて、礼儀正しくあいさつをする
と、相手もうれくなるし、笑顔になると思います。
- 朝から元気よく、大きな声で、「おはよう」という太陽みたいな元気なあいさつが本当のあいさつだと思います。
- 相手の目を見て、心から元気に言ってくれたらうれしいし、それこそ気持ちのよいあいさつだと思います。
- 「心をつなぐ5つの約束」でもあるように、元気な声で明るく気持ちのよいあいさつ。声だけではなく、顔も明るくする。

【保護者の感想】

- あいさつができることは、お互いに気持ちよくなるし、ちょっと恥ずかしくても、勇気を出してやっていると、やればいいなと思いました。やはり、あいさつをしてくれると、うれしいものです。
- 大用のみんな、しっかりあいさつが出来ていると思います。道ですれ違った時も、元気の良さが気持ちいいです。6年生はこれから中学生になっても、気持ちのよいあいさつを続けてほしいと思います。下級生は、今日学習したことを忘れず、あいさつを頑張ってくださいね。
- 子どもたち目線の色々な意見が出てきておもしろかったです。全校児童の中で、臆せず発表できる低学年の子どもたちも頼もしく感じました。子どもたちと教頭先生の掛け合い、とても楽しかったです。普段から、大用の子どもたちはしっかり挨拶をしてくれます!



四万十市立大用小学校 道徳教育参観日

子どもの規範意識って
どうやって育てるの?

令和6年10月24日(木)

高知県教育委員会事務局生涯学習課 威能 英明

「自分の家では、どんなルールがあるの?」という講師の威能先生の問いかけに、子どもたちはそれぞれの家庭でのルールを発表してくれました。メディアの視聴時間など、子どもの健康を第一に考えたルールが多かったです。守れなかった時には、保護者が子どもが納得できるように丁寧に説明し、しっかり話し合うことが大切だと教えてくれました。

通学路の神様

太一さんは四十五才の会社員。仕事が終わる時は、自分が卒業した「さくら台小学校」の通学路に立ち、交通安全の見守りボランティアをしています。

ボランティアは、今年で十年目になる。

「おはようございます」
今朝も、元気に登校している子どもたちにも声をかけていた。しばらくすると向こうから、

普段からなかなかあいさつしてくれない女の子が近づいてきた。太一さんは帽子を取って

「おはようございます」

と大きな声であいさつをした。

ところがその女の子は

「うるさい」

と言って、太一さんの足をけり、通り過ぎていった。

太一さんはそのことがショックで、ボランティアに行けなくなった。

三ヶ月がたち、太一さんはボランティアにもどってきた。

「おはようございます」

これまでのように登校してくる子どもたちに声をかけていた。

すると、太一さんの前に一人の女の子がやってきて突然泣き出した。

「どうしたの?」

と、太一さんが優しく声をかけると、女の子は、

「わたしが、あんなことをしたから・・・」

と泣きながら謝った。

それから、女の子は笑顔であいさつをするようになった。

三月二十四日。

太一さんは、卒業式に招待された。

あの日の女の子が太一さんの前に駆け寄ってきて、

「私、四月から私立中学校に行きます」

と報告してくれた。

新学期

いつものように通学路に立っていると、

太一さんと呼ばれる大きな声が聞こえてきた。

電車通りの向こう側から、

中学校の制服に身を包んだ

女の子が手を振っていた。

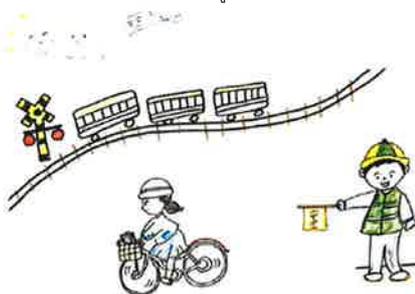
「行ってらっしゃい!」

「行ってきます!」

彼女は、自転車走らせて

学校のある方へと向かっていった。

※この話は、高知新聞に掲載された記事をもとに大用小学校の先生たちでつくりました。



PTA 道徳教育講演会

家庭でのルールはしっかり話し合って決めよう!